

# 南花台スマートエイジング・シティ団地再生モデル事業（咲っく南花台）／ 変わり続ける仮囲いプロジェクト



まちづくり拠点でみんなで教え合いながらの作業。

## 目的

新たなコミュニティ形成、地域への愛着づくり、歩きたくなる風景をつくること、未来の公園への興味関心の形成などを目的として、本取り組みを実施した。

## 活動内容

2026年度に完成予定の（仮称）南花台中央公園の工事期間中、敷地は長大な白い仮囲いに囲まれ、無機質で単調な景観となっている。そこで、この仮囲いを大きなキャンパスに見立て、「みんなでつくり続ける公園」の象徴として、地域住民の手で風景を育てていくプロジェクトを実施した。カットニングシートを用いた小さなアートピースを市民参加で制作し、複数回に分けて仮囲いへ貼り足していくことで、色彩豊かで統一感のある大きな風景を形づくっている。制作の場



地域の交流サロンでも多くの住民参加があった。



現時点で全長50m以上の壁画ができあがっている。



みんなで仮囲いに貼り込み作業を行なった。

## 活動の成果

- ≫ 地域小・中学校での授業に本プロジェクトを組み込むことができた。
- ≫ 住民参加型で公共的な景観づくりを実施することができた。
- ≫ 新たなものづくりコミュニティ形成につながった。

環境都市工学部 教授 大影 佳史 Okage Yoshifumi



専門は環境デザイン・建築計画、公共空間や都市景観等、人間の生活環境を対象に、調査／分析に基づく研究から計画／設計。近年はプレーパークなど子どもの遊び環境にも携わる。



## DATA

- 主な連携先・メンバー  
河内長野市／南花台小・中学校／地域住民／一般社団法人カンデ 他
- 活動地域  
大阪府河内長野市南花台地域
- 活動期間  
2014年度～継続中（変わり続ける仮囲いプロジェクトは2025年度実施）
- 活動資金  
河内長野市受託研究

# 大学連携型地域再編

# まちづくり

# 自分たちのまちは自分たちでつくる

## 連携に至る経緯

急速な少子高齢化が進む南花台地域において、関西大学団地再編プロジェクトでの取り組みを契機とし、大学連携地域再編PJ「咲っく南花台」を継続実施している。今回、地域内での公園整備の工事期間中、地域住民の公園での活動意識醸成のために企画実施に至った。

は、まちづくり拠点コノミヤテラスでの住民向けワークショップや、地域内小中学校の図画工作・美術の授業、交流サロンでのイベントなど複数の入り口を設け、多様な人が関われる仕組みとした。仮囲いへの貼り出しは、初回にメーカー講師によるレクチャーを受け、その後は住民自らが作業を担っている。一気に完成させず、少しずつ育てるプロセスを共有することで、公園が完成するまでの時間そのものを、地域の楽しみと学びの場へと転換している。

## 今後の課題・目標・展開の可能性

- ≫ 行政機関および地域内小・中学校とのより密な連携
- ≫ 地域の子どもたちとの継続的な活動実施のための仕組みの構築
- ≫ 公園完成後の大学連携型での地域住民自らが公園を活用した様々な企画の支援と実施

先端科学技術推進機構 客員研究員 関谷 大志朗 Sekiya Taishiro

関西大学建築学科卒、同大学院修了。大学・行政・地域など多様な主体協働型まちづくり活動に取り組み、現在は河内長野市南花台をフィールドに活動中。一般社団法人カンデ所属。